講義名称	ソーシャルワーク実習Ⅰ<3年>
開講責任部署	大学
講義区分	実習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（4）、社会福祉学科（4）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24210088
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14214088

担当教員

氏名	所属
◎ 岡村　綾子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
柴田　紀子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
久富　郁代子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
内　慶瑞	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	①実習先の施設・事業者等が地域において果たしている役割と機能についての理解。 ②利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成。 ③社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任への理解。
到達目標	①レジデンシャル・ソーシャルワークが実践されている現場について体験的に理解できる。 ②ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術を体得する。 ③専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 レジデンシャル・ソーシャルワーク実習の第1段階である「職場実習」として実施する（５日間） ・実習先の施設・事業者等が地域において果たしている役割と機能についての理解 ・利用者やその関係者、施設・事業者機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成 ・社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任への理解 ・実習中は、実習指導者による指導と実習指導担当教員の巡回指導等を通して指導を受ける。 【事前事後学修の内容】 実習の振り返り。 次の日の実習目標を立て、達成課題を明らかにする。

履修に必要な予備知識や技能	「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」で学んだ内容をしっかり理解して実習に臨むこと。
課題に対してのフィードバック	実習期間中の巡回指導の際に、諸記録の点検・指導を行う。
評価方法・基準	実習施設・事業からの評価、実習態度、レポート等により総合的に評価する。評価の割合は担当教員から実習指導Ⅰのオリエンテーションで案内する。

教科書	参考書：担当教員より必要に応じて案内する。
実務経験の内容・期間	社会福祉士（内　慶瑞　市町村社会福祉協議会のボランティア・コーディネーター４年、福祉活動専門員５年）